

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

内容報告書

団体名：飯田市

1. 事業の概要

事業名称	飯田市 地域との協働による日本語教育推進事業
事業の目的	これまでの日本語教室の活動から見てきた地域の実情や課題、ニーズなどに寄り添った日本語教室を開催し、外国人の自律促進と地域課題解消への一助とする。これまで築いてきた関係機関等との連携を継続、更に強化するとともに、新たな連携先の発掘にも力を入れる。教室に参加する学習者が、実践的な日本語を身につけることはもちろん、地域住民と共に日本文化や地域について学ぶことを通して、住民のひとりとしての自覚を持ち、社会へ踏み出していく足がかりとする。地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にした教室活動を展開することによって、地域住民と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。今年度は新しく教室を開設する地区もあり、飯田市における日本語教育の裾野が広がるような活動を目指す。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	飯田市には総人口103,494人に対し、2,058人(比率1.99%)の外国人住民が暮らしている(平成28年12月末現在)。外国人住民の9割は、中国、フィリピン、ブラジル出身者で、かつて満蒙開拓団として多くの人を送り出した歴史的背景から、帰国者に関係する中国出身者が特に多い。ブラジル人は、リーマンショック以降ピーク時の1/3に減少し、その後横ばいの状況だが、フィリピンなどから急に来日する学齢期を超えた若者やアジア諸国からの技能実習生の増加などにより、定住・永住化と合わせて多様化する外国人住民への対応が求められている。そのような状況の中、当市でも人口減少、少子高齢化が進み、こうした外国人住民も地域の担い手としての役割を果たすことが期待される。 日本語教育活動については、公民館、民間団体、中国帰国者支援関係の団体が主催するボランティア日本語教室が4か所あり、それぞれ20年近く活動しているが、指導する日本語ボランティアの高齢化と後継者不足、指導力向上の機会の少なさといった課題がある。また、教室数が多くないため、学習意欲はあっても、交代勤務や夜勤などの厳しい労働条件で、時間が合う教室がない、交通手段がないため通えないという外国人住民も多い。 多くの市民に外国人住民の実情や日本語教室の活動などの現状が認識されていないことも課題のひとつで、日本語教育の体制整備を進めるためには、裾野を広げる活動が必要である。 大学、日本語学校等の専門機関はないが、平成21年より厚労省の外国人就労・定着支援研修が毎年開講されている。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容概要	◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施 平成28年度に引き続き、日本語教室「わいわいサロンⅡ」を県公民館で2期、松尾公民館で1期開催する。市内に住む外国人成人を主な学習対象とする。学習形態は対話型とし、これまでも協力いただいている日本語支援者のみなさんに引き続き支援していただいた。 学習内容は生活に必要な実践的な日本語とともに、日本の文化や地域の産業、生活情報などについて学べるものとした。地域の関係者や団体を教室へ迎えたり、現地へ出向いての研修を取り入れたりすることで、地域との連携をはかり、外国人が地域社会で自律し、歩み出していき足がかりとした。また、地域社会の理解が深まり、多文化共生社会実現に向けた意識の醸成につながった。 松尾公民館教室については、初・中級の学習者を対象とし、読み書きを多めにとりいれた学習内容とした。定住者、永住者が増加し、学習者のニーズの多様化という現状にも対応できた。 両教室で扱うテーマや教材は平成25年度から参加していただいている日本語支援者を中心に企画会議で検討した。 ◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」丘の上教室の実施 これまで公民館の日本語教室としては平日昼間のわいわいサロンしかなかった「丘の上」地区に、新たな日本語教室を開講する。丘の上地区(公民館としては「橋北」「橋南」「東野」「羽場」「丸山」の5館)は、合併前の旧市街地を含み、官公庁舎や駅、文化施設、飲食店などが多い地域となっており、外国人集住率も高くなっている。(2.34%)そのうち20代～40代の若者世代の割合が、4.57%(平成28年9月現在)と高いのは注目すべきことで、このような地区で日本語教室を開設することで、新たな学習者層を取り込むことができた。 学習形態は他の教室同様対話型とし、日本語支援者のみなさんに対話のパートナーとして協力いただいた。この支援者は、従来の方々に加えて、丘の上地区からも新たに募集し、企画会議で内容について検討した。 地域との協働に関しては、教室開設前に準備として、自治会やまちづくり委員会といった地域組織へ、公民館を通して説明をし理解と協力を求めた。その過程で、地域からの声や要望を教室運営や学習テーマに反映できた。 ◆学習成果発表会の実施 日本語教室の活動を地域に広く知ってもらうため、また日本語教室で学ぶ学習者がその成果を発表する場として、成果発表会を開催した。日本語スピーチ、ビデオ作品上映、作品展示など、学習の成果を発表する場があれば、学習者にはそれに向けてのモチベーションを高める効果が期待でき、地域には教室活動を周知できる機会にもつながった。28年度は、学習者の家族や友人、同僚、興味のある地域の方々などが参加してくださり、「努力して学習する姿が素晴らしい」「私も勉強してみたい」などの感想をいただき、少しずつではあるが広がっている手ごたえが感じられた。このような活動は継続していく必要があるだろう。 開催にあたっては、わいわいサロンの日本語支援者、外国人住民、市内日本語教室の関係者を含む実行委員会を組織し企画会議を実施した。
事業の実施期間	平成29年6月12日～平成30年3月9日 (9か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	春原 直美	佐久市市民活動サポートセンターセンター長
2	樫野 武司	竜丘公民館日本語教室代表
3	秦 文映	常盤台日本語教室代表
4	吉澤 裕美子	Hand in Hand和楽(日本語教室)代表
5	脇田 ルリコ	バイリンガル指導者
6	大澤 志那子	地域日本語教育コーディネーター
7	林 みどり	飯田市男女共同参画課多文化共生係長
8	湯澤 ちふ美	飯田市公民館社会教育コーディネーター



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年6月17日 (土) 10:00～12:30	2時間30分	飯田市公民館	①春原直美②樫野武司③秦文映④脇田ルリコ⑤大澤志那子⑥林みどり⑦氏原理恵子⑧湯澤ちふ美	1.今年度事業について 2.市内日本語教室の現状について(各教室代表より) 3.長野県内の多文化共生事業について(春原主査より)
2	平成29年9月16日 (土) 10:00～12:30	2時間30分	飯田市公民館	①春原直美②樫野武司③秦文映④脇田ルリコ⑤大澤志那子⑥林みどり⑦湯澤ちふ美	1.事業の進捗状況について 2.市内日本語教室の現状について(各教室代表より) 3.長野県内の多文化共生事業について(春原主査より)
3	平成29年12月9日 (土) 10:00～12:30	2時間30分	飯田市公民館	①樫野武司②秦文映③脇田ルリコ④大澤志那子⑤湯澤ちふ美	1.事業の進捗状況について 2.バイリンガル指導者の取組について(脇田委員より)
4	平成29年2月3日 (土) 10:00～12:30	2時間30分	飯田市公民館	①春原直美②樫野武司③秦文映④脇田ルリコ⑤大澤志那子⑥林みどり⑦湯澤ちふ美	1.今年度の事業報告、評価 2.来年度の予定

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」 以前から構築できている各機関(市役所、自治会、地域の伝統行事保存会、病院等)との連携を継続し、講師として教室に参加いただいたり、各機関からの要望なども学習テーマに反映させる。また地域で活躍する一般市民や団体、企業等、新たな分野との連携を図った。昨年度長野県が実施したバイリンガル日本語指導者育成講座を受講した飯田地域の方々とも、学習内容の検討などにおいて協力体制を築くことができた。 ◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」丘の上教室 教室の内容については既存の教室同様各機関などと連携して進める。新しい教室のため、開催地区の自治会やまちづくり委員会との連携を図り、地元への周知や理解を得たい。地区住民の声を学習テーマや教室運営に反映させられるような連携体制を確立できた。 ◆学習成果発表会 飯田国際交流推進協会をはじめ、他の日本語教室、外国人住民の団体やキーパーソンなどから実行委員会を組織し、企画・運営を行った。
------	---

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	◆日本語教室「わいわいサロンⅡ」 各教室が始まる1、2ヶ月前に、コーディネーター(大澤)が指導者二人を含む日本語支援者を招集し、学習テーマについての企画会議を行う。会議の中で、学習テーマの大枠を決め、詳細(タイトル、学習目標など)はコーディネーターが詰めた。コーディネーター及び指導者2人(服部、下岡)で担当回を振り分け、各自担当回の教案を作成し、担当回のファシリテーターを務めた。ファシリテーターをしない指導者が教室に参加する場合は、他の日本語支援者と同様、学習者の会話パートナーとして参加する。外部から講師やゲストを迎える場合は、主にコーディネーターが打ち合わせ等を行った。必要に応じて指導者二人も参加した。 ◆日本語教室「わいわいサロンⅡ丘の上教室」(仮称) 丘の上5地区から、会場となる公民館を1箇所選定した。その地区の公民館を通し、地区の自治会などの組織へ文書などで教室開設のお知らせをし、協力をお願いする。必要があれば、コーディネーターもしくは事務局が会議等へ出席して説明をした。同時に該当地区で、教室の日本語支援者の募集チラシ等を配布し、新たな支援者を募った。この後は上記の日本語教室「わいわいサロンⅡ」の実施体制と同様に進めた。 ◆学習成果発表会 指導者を含む市内教室の中心メンバー、学習者などからなる実行委員会を組織し、企画会議を開催して当日の運営も行った。 ◆上記取組のすべてにおいて事業担当者(湯澤)が、関係者の連絡調整、学習者募集等の広報、教室の運営補助、各種事務処理を担当した。
----------	---

3. 各取組の報告

＜取組1＞										
取組1	取組の名称		日本語教室「わいわいサロンⅡ」							
	取組の目標		・同じ地域で暮らす外国人と日本人が出会い、交流する場とする。学習者はより実践的な日本語会話や読み書き、日本文化、生活情報などを学び、地域で自律して生活していく。日本語支援者は、活動を通しての自己実現の場とする。日本人、外国人双方にとって、教室が居場所となるようにする。 ・教室の運営にあたり、関係機関との連携を深め、地域での日本語教育の重要性を発信する。また、今後の当市での日本語教育の中心的存在となる。							
	取組の内容		・外国人の成人を対象とした、実践的な日本語や日本文化、生活情報などについて学ぶ教室を開設した。 ・平成28年度の開催地を継続し、県地区で2期(6～7月全7回・12月～2月全10回)、松尾地区で1期(9月～11月全10回)の計3期開講した。 ・対話型学習を中心とし、県地区では初級レベル、松尾地区では初中級レベルを対象とした。 ・学習テーマについては、日本語支援者で構成される企画会議を開き、企画・検討し、必要があれば教材等も作成した。 ・県地区では、生活に必要とされる実践的な日本語とともに日本の文化や地域の産業、生活情報などを学んだ。松尾地区では、DSTの手法を用いたビデオ作品制作を行い、読む・書くの技能向上を図った。ビデオ作品のテーマについては、学習者が自身の気持ちを整理したり、作品を見た地域の日本人に彼らの実情を伝えることが出来るものとなるよう「わたしの今」とした。 ・学習テーマによっては、関係機関や地域で活躍する一般市民の方に教室に参加していただいたり、現場へ受講者が出向いたりして、より実践的な日本語を学べる教室とした。							
		空白地域を含む場合、空白地域での活動								
	取組による体制整備		行政、病院、消防署等の各機関とは、これまでたびたび連携し、活動してきた。そのつながりは継続しつつ、地場産業に携わる地域の方々などの新しい連携先を開拓し、協力できる体制をつつた。受講者が地域住民であることを自覚し、地域を担う一員として社会へ踏み出す為の足がかりとした。また、その分野の方々の意識改革にもつながると考えた。							
	取組による日本語能力の向上		・日常生活に必要な場面での実践的な日本語会話の習得。 ・地域社会で知っておかなければならない生活情報の獲得。 ・自らについて日本語で語るための表現力、文章作成力の養成。							
	参加対象者		日本語を学びたい成人				参加者数 (内 外国人数)		54人 (29人)	
	広報及び募集方法		・チラシ配布(市内地区公民館・日本語教室・市内趙中学校 等) ・市広報・新聞・地方情報誌への掲載 ・組合回覧 ・インターネット(市役所HP、Facebook) ・学習者による口コミ							
	開催時間数		総時間 54 時間							
	主な連携・協働先		県公民館、松尾公民館、飯田市役所、バイリンガル日本語指導者、くま鍼灸院、田畑茶舗、シニア大学、一般市民							
	参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
			15	0	0	0	4	0	1	8
フランス(1人)、日本(25人)										
実施内容										
【県教室・前期】 疲れにさよなら！日本語教室でリフレッシュ！？ 6月～7月 (全7回)										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成29年6月12日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	12	梅でリフレッシュ	初回オリエンテーションのあと、飯田の名産でもある梅について簡単に話した。その後、地元で梅漬けの講師をされている方を迎えて梅酒作り体験。ひとり一瓶ずつ漬けた。講師に他の梅漬けや梅の効能などのお話をさせていただき質問もたくさん出た。		大澤志那子 講師：西塚洋子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③八木孝子 ④横山燈里 ・小沢洋夫	
2	平成29年6月19日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	8	歌でリフレッシュ	歌や音楽について小グループで付箋トークをし、内容を共有した。その後「上を向いて歩こう」を日本語で、「きらら星」を各国語で歌ってみた。「上を～」は数人が知らなかったが、歌詞カードを見ながら日本語に挑戦していた。歌詞の意味も考えた。「きら～」は母語で歌ったためストレスなく、のびのび歌っていたのが印象的だった。		大澤志那子	①市瀬弘子 ②後藤信義 ③下岡恭子 ④向山敦子 ⑤八木孝子 ⑥山崎りえ子 ⑦横山燈里 ・小沢洋夫 ・木下聡美 ・斎藤れい	

3	平成29年6月26日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	6	研修旅行の計画	研修旅行の計画を立てた。グループ毎に管内でお勤めの場所や行きたい場所について話し発表。その中から遠山郷(南信濃)方面にきまりかけたが、「この日は海の日だから海へ行きたい！」という意見に全体が流れ、佐久島行きが決定した。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②向山敦子 ③八木孝子 ④山崎りえ子
4	平成29年7月3日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	8	ストレッチでリフレッシュ	幅広い年齢層の方々にストレッチなどの指導している講師を迎えての、身体のリフレッシュ体験。畳の広い部屋で実施。ストレッチやマッサージなどできたらリラックスできた。痛いところなどについて講師に相談する姿もあった。	大澤志那子 講師:宮澤恵子 (くま鍼灸院)	①市瀬弘子 ②木下弘子 ③後藤信義 ④下岡恭子 ⑤向山敦子 ⑥八木孝子 ・小沢洋夫
5	平成29年7月10日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	7	おしゃべりでリフレッシュ	話すテーマを書いたサイコロを使って、グループでサイコロトーク。一人が話した後、その内容を書きとめながら進めた。書く作業は少し大変なようだった。後半研修旅行について詳細を確認した。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②後藤信義 ③下岡恭子 ④向山敦子 ⑤八木孝子 ⑥横山燈里 ・小沢洋夫 ・四宮沙代香
6	平成29年7月17日 (月) 6:30～18:00	2 日本語指導に係る時間	佐久島	7	佐久島旅行	学習者、支援者合わせて12人参加。少し遠出ではあったが、佐久島ではレンタサイクルでアート作品に触れながら島を巡り、楽しい経験ができた。なかなか見られない「海」にみなさん興奮気味。お土産もたくさん購入していた。	大澤志那子	①下岡恭子 ②八木孝子 ・小沢洋夫
7	平成29年7月24日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	9	お茶でリフレッシュ	老舗のお茶屋さんに来ていただき、お茶の作り方や美味しいいれ方などを教えていただいた。飲み比べなどもでき、日本茶を改めて見直す良い機会となった。	佐藤満美香 (田畑茶舗) 大澤志那子	①市瀬弘子 ②木下弘子 ③後藤信義 ④下岡恭子 ⑤向山敦子 ⑥八木孝子 ⑦山崎りえ子 ・小沢洋夫

【県教室・後期】 うたとにほんご！～出演しよう！コーラスグループ発表会～ 12月～2月 (全10回)※1回は雪のため中止

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年12月4日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	8	好きな歌について話そう	歌や音楽についてグループワーク。キーワードを付箋に書き出し、全体で共有。音楽の趣味やカラオケに至るまで、様々な話題が出た。その後、2月末の公民館エーラスグループ発表会にわいわいサロンとして出てはどうかと提案し、賛同を得たため、歌いたい曲についてグループごと話し、3曲ほどに候補をしばった。	大澤志那子	①木下弘子 ②後藤信義 ③篠田初美 ④下岡恭子 ⑤向山敦子 ⑥山崎ルミ ⑦山崎りえ子
2	平成29年12月11日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	8	カラオケのことコーラスグループ発表会の歌決め	スマホのカラオケアプリを使用し、ミニカラオケ体験。グループで一曲ずつ決めて歌ってみた。カラオケでは日本語の歌を歌う外国人も多い。その後、前回選んだ3曲から、発表会で歌う曲を「海の声」と「きらきら星」に決定。最後に音楽大学出身の学習者の指導で発声について学習した。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②木下弘子 ③後藤信義 ④篠田初美 ⑤下岡恭子 ⑥向山敦子 ⑦山崎ルミ ・小沢洋夫 ・善本勝 ・山崎りえ子 ・伊吹唯 ・上沼美穂

3	平成29年12月18日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	9	和楽器体験 歌の練習	箏、三味線を支援者が持ってきてくださり、交替で体験した。待っているグループは、楽器をテーマにグループトーク。日本人でも減多にやる機会はなく、参加者全員楽しい経験ができた。後半は、「海の声」(混声3部合唱)のパートを決め、楽譜を配って少し練習に入った。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②木下弘子 ③後藤信義 ④下岡恭子 ⑤向山敦子 ⑥山崎ルミ ⑦山崎りえ子 ・小沢洋夫 ・善本勝
4	平成29年1月14日 (日) 10:00～13:00	2 日本語指導に係る 時間	県公民館	8	お正月遊びを体験しよう 歌の練習	日本の正月遊び(かるた、福笑い、ぼうずめくり)をやってみた。それぞれかなり盛り上がっていた。遊んだあと、持ち寄りの料理などで昼食をとり、最後は歌の練習。	大澤志那子	①木下弘子 ②後藤信義 ③篠田初美 ④下岡恭子 ⑤向山敦子 ⑥山崎ルミ ⑦山崎りえ子 ・小沢洋夫 ・善本勝 ・上沼美穂
5	平成30年1月15日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	10	和太鼓にチャレンジ 歌の練習	地元で活躍するの和田太鼓グループ「はなまる座」から講師を迎えて、和太鼓体験。1時間ほどだったが、「花笠音頭わいわいサロンバージョン」を一曲最後までやった。「夢がかなった」という学習者、「続けて習いたい」声もあり、好評だった。後半は合唱練習をした。	大澤志那子 講師:水野敬子 (はなまる座)	①市瀬弘子 ②木下弘子 ③後藤信義 ④篠田初美 ⑤下岡恭子 ⑥向山敦子 ⑦山崎ルミ ⑧山崎りえ子 ・小沢洋夫 ・善本勝
6	平成30年1月22日 (月) 19:00～21:00		県公民館		日本語のオノマトペ 歌の練習	雪のため中止		
7	平成30年1月29日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	9	コーラスグループ 発表会について 歌の練習	コーラスの発表に向けて練習が不十分なため、歌に特化した学習をした。当日の衣装や今後のスケジュールなどについて間に話し合いを入れながら歌の練習をした。「きらきら星」についても曲の構成を決め、それぞれの言語で歌ってみた。本番に向けて、歌練習のみ継続することを確認した。学習者アンケートを実施した。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②後藤信義 ③篠田初美 ④下岡恭子 ⑥山崎ルミ ・小沢洋夫 ・善本勝 ・山崎りえ子
8	平成30年2月5日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	5	歌の練習	歌詞の内容について学び、自然な日本語で唄えるよう、発声と合唱の練習をした。	大澤志那子	・木下弘子 ・山崎りえ子 ・山崎ルミ ・市瀬弘子 ・下岡恭子 ・小沢洋夫 ・後藤信義 ・善本勝
9	平成30年2月12日 (月) 19:00～21:00	2	県公民館	9	歌の練習	歌詞の内容について学び、自然な日本語で唄えるよう、発声と合唱の練習をした。	大澤志那子	・木下弘子 ・山崎りえ子 ・山崎ルミ ・市瀬弘子 ・下岡恭子 ・小沢洋夫 ・後藤信義 ・善本勝
10	平成30年2月19日 (月) 19:00～21:00	2	飯田市民館	7	歌の練習	歌詞の内容について学び、自然な日本語で唄えるよう、発声と合唱の練習をした。	大澤志那子	・木下弘子 ・山崎りえ子 ・山崎ルミ ・市瀬弘子 ・篠田初美 ・下岡恭子 ・小沢洋夫 ・後藤信義 ・善本勝
11	平成30年2月21日 (水) 19:00～21:00	2	飯田市民館	7	歌の練習	歌詞の内容について学び、自然な日本語で唄えるよう、発声と合唱の練習をした。	大澤志那子	・木下弘子 ・小沢洋夫 ・後藤信義 ・善本勝

【松尾教室】フォトムービー作品を作ろう 9月～11月（全10回）

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年9月6日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	8	飯田のこと、紹介してみよう①	【飯田紹介ビデオを作ってみよう】 初回オリエンテーションの後自己紹介。グループワークで飯田のいいところを挙げ、ビデオで紹介する4つのテーマ(山、川、祭り、駅と街)を決定。希望するテーマ別に分かれ、紹介文作りをした。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里 ・小沢洋夫 ・熊谷俊夫
2	平成29年9月20日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	6	飯田のこと、紹介してみよう②	【飯田紹介の原稿を仕上げて、読む練習、録音しよう】 4つのテーマ別に紹介文を仕上げ録音。短い文だが何度も読む練習を繰り返した。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里 ・小沢洋夫 ・熊谷俊夫
3	平成29年9月27日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	5	作品のテーマ決め	【わたしの今カメラ】 「わたしのいま」を写すカメラに写るものについて絵や言葉を描き、支え学ペアでそれぞれのテーマを決めた。	服部珠代	①市瀬弘子 ②八木孝子 ③大澤志那子 ・小沢洋夫 ・熊谷俊夫
4	平成29年10月4日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	6	写真選び・原稿の書き方	【ストーリーの構成を考え、短い文を書く】 ウォームアップのあと、ペア活動。各自のテーマに関連する言葉集め。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里
5	平成29年10月11日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	6	原稿作成	【原稿作成を始める】 ウォームアップのあと、ペア活動。集めた言葉たちから短い文をたくさん作っていく。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里 ・小沢洋夫
6	平成29年10月25日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	5	原稿作成	【原稿作成】 ウォームアップのあと、ペア活動。作品全体の構成を考えながら、文をつなげたり膨らませた。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ・小沢洋夫
7	平成29年11月8日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	5	原稿作成・読む練習	【原稿作成】 ウォームアップのあと、ペア活動。細かい内容に注意しながら、原稿をまとめた。	大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④横山燈里 ・小沢洋夫
8	平成29年11月15日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	6	原稿作成・読む練習	【原稿を仕上げて、読む練習をする】 ウォームアップのあと、発音練習。その後ペアで原稿仕上げ作業。写真選びなども行なった。	・大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里 ・小沢洋夫
9	平成29年11月22日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	5	録音	【ナレーションを録音しよう】 短時間でウォームアップをし、ペアでの原稿最終確認や読み練習をした。できる人から原稿を読んで録音した。	・大澤志那子	①市瀬弘子 ②八木孝子 ③横山燈里 ・小沢洋夫
10	平成29年11月29日 (水) 19:00～21:00	2	松尾公民館	7	録音	【ナレーションを録音し、学習のまとめをしよう・打ち上げ】 ウォームアップのあと、残っている人は録音。録音終了者は講座の振り返りをした。	・大澤志那子	①市瀬弘子 ②下岡恭子 ③服部珠予 ④八木孝子 ⑤横山燈里 ・小沢洋夫

(1)特徴的な活動風景

○取組事例①

【鼎教室・前期 第7回 29年7月24日】お茶でリフレッシュ

①導入

ファシリテーターからこの日の内容喚起と講師(田畑茶舗の佐藤満美香氏)の紹介を行った。

②講義1

佐藤氏からお茶の種類や新茶についての講義をいただいた。冷やした緑茶を実際にいれてくださり、試飲をした。写真や資料を用いた身近なお話として話して下さりわかりやすかった。

③グループトークで講義のふりかえり

着席していたグループで、佐藤氏のお話についてわからないことがなかったか、資料を見ながら確認した。講義を聞いての感想などについても話した。もう一度講師に確認したり、新しい質問をする姿もあった。

④講義2

佐藤氏から緑茶づくりの工程についての講義をいただいた。工程によってできるお茶が違っていきることなど、興味深いお話が続いた。

⑤グループトークで講義のふりかえり

再びグループで講義について振り返った。講師にたくさん質問する場面が見られた。

⑥日本茶テイasting

お茶のいいいれ方も教わりながら、講師が用意してくださった4種類のお茶を飲み比べた。比べてみると、香り、色、味、値段などの違いがよくわかり、また好みも分かれて、外国人だけでなく日本人にもおもしろい体験となった。講師の方からは、「飯田にも大勢の外国人が暮らしていることがわかった。日本茶も意外と人気があるようで、在住外国人にも是非もっとお茶のよさを広めたい。」というような感想をいただいた。

⑦終わりの会

講師にお礼を言い、出席カードにシールなどをはって、個々にコメントを記入。前期最終授業だったため、学習者はコースを通しての感想もアンケート形式のものに記入した。



○取組事例②

【鼎教室・後期 第3回 29年12月18日】和楽器体験と歌の練習

①ウォームアップ

初めての参加者もいたため、全体で一円になって、「世論調査」(一人が言った質問にyesの人は位置を移動する)でウォームアップ。お腹がすいているか、元気か、今日仕事をしてきたかなど、お互いに参加者の状況把握ができた。

②和楽器クイズ

参加者は小グループに分かれて着席。CDを聴いてどの和楽器の音かを当てる、などのクイズをし、導入とした。グループ内で話し合って答えを考えるようにしたため、グループでの会話も弾み、和楽器への関心を高める効果もあったようだ。

③和楽器体験とグループトーク

支援者の一人が自宅から箏と三味線をつづつ持ってきてくださり、それをグループごと順番で体験した。楽器の体験をしていないグループは、楽器(和楽器に限らず)についてグループトークをした。箏も三味線も音だけを出すことはだれにでもできるため、楽しんで体験していた。日本人でも触ることも珍しいため、みなさん興味津々の様子が伺えた。

④振り返り

楽器を体験してみても感想、グループトークで出た話などを全体で共有した。

⑤歌の練習

後半は合唱練習をした。前回に歌う歌が「海の声」に決定してから最初の練習だったため、パートの選定から行った。元ピアニストの学習者の指導で、女性はソプラノとアルトに分かれた。楽譜を配布し、それぞれのパートがどこを歌うか、どんな曲調で歌うかなど確認した。CDを聴いて、とりえず1回歌ってみた。

⑥終わりの会

歌の感想を共有しつつ、学習カードに出席シールを貼り、各自コメントを記入。2月のコーラス発表会までのコーラスの日程と、次回の教室の日程を確認して終了した。



○取組事例③

【松尾教室 第4回 29年10月4日】ストーリーの構成を考え、短文を書く

①ウォームアップ

大体の参加者がそろったところで開会。全体を2グループに分け、作文活動でウォームアップ。引いたカードに書いてある語を使って、口頭で一文ずつ作文していった。つくった文の内容に聞いている人が反応し、会話が盛り上がっていた。良いウォームアップとなった。

②ペアでテーマ確認と言葉集め

支援者と学習者がペアになり、前回に書いた「わたしの今カメラ」の用紙を見ながら各学習者のストーリーのテーマを確認した。そのテーマに関する様々な言葉を単語レベルで集め、ワークシートに記入していった。学習者のレベルや進度に合わせて、語彙の表記を教える、言葉がでるような質問をする、などのサポートをペアごとに個別に行うことができた。

③ペアでストーリーの構成

引き続きペアで、集めた言葉たちをカテゴリーごとに分け、整理していった。グループ分けができたところで、順番を決め文章の構成を考えた。

④ペアで短作文

③まで終わったペアは、集めた言葉を使って、短い文をたくさんつくる作業をした。

⑤終わりの会

時間いっぱいまでペア活動をした後、ふりかえりの会。各ペアでできた文を少しずつ発表し、進捗状況を全体に共有した。学習カードへ出席シールを貼りコメントを記入して終了。



(2) 目標の達成状況・成果

・鼎教室前期では、梅漬けのスペシャリスト、ストレッチの講師、老舗のお茶店など、地域からの講師をお迎えし、新しい分野との連携体制をつくることができた。学習者が地域へ踏み出していける道を示すことができたのと同時に、講師として来てくださった地域の日本人の方々に対しても、地域で暮らす外国人に対する理解を深めていただけるよい機会となったのではないかと推察でき、「(自分がこんな文章をつくることができるなんて)びっくりした。」「文章を書くことよりも、録音のために読むことが難しかった。何回も練習してできたときはうれしかった。」といった感想があった。

・鼎教室・後期では、歌の活動をそのままコーラス発表へつなげていく展開となった。コーラス自体が初体験という学習者も多い中、みなさん熱心に練習に参加してくださり、無事発表会のステージに立つことができ、グループとしての大きな達成感を得られた。「歌はとても難しかったけど、ステージで歌えたことはとても楽しかった。来年もやりたい。」という参加者の感想が多かった。

・コーラスグループ発表会参加者(他団体)感想には、「世界は一つのはずで、繋がっている気がしました。皆さんで楽しく歌っているのが伝わってきて感動しました。」「こんなに多国籍の人たちがひとつの歌を心に一つにして歌っていることに感動しました。」「難しい日本語を覚えて歌うことは大変だったと思いますが、これからもぜひ合唱を続けてみてください。」などの声があり、聴いてくださった方々にも感動していただけた。

(3) 今後の改善点について

・学習者がリピーターとして参加してくれることはありがたいが、新しい学習者層参加は少数に留まった。あまり日本語がわからない人にとっては敷居が高いという外国人住民のキーパーソン言葉もあり、教室の内容、広報の仕方など再度検討する必要がある。

・指導する日本語支援者はある程度いるが、主体的に関われる人材が少ない。今後も安定的に継続した活動をしていくためには、中心となっていける人材を育てることが必要である。

＜取組2＞									
取組2	取組の名称		日本語教室「わいわいサロンⅡ丘の上教室」						
	取組の目標		・同じ地域で暮らす外国人と日本人が出会い、交流する場とする。これまで日本語教室にあまり参加してこなかった新しい学習者層を取り込む。日本語支援者についても、開催地域から新しく発掘、養成する。学習者はより実践的な日本語会話や読み書き、日本文化、生活情報などを学び、地域で自律して生活していく。日本語支援者は、活動を通しての自己実現の場とする。 ・教室の開設にあたり、地区の自治会等の組織の理解と協力を得る。						
	取組の内容		・外国人の成人を対象とした、実践的な日本語や日本文化、生活情報などについて学ぶ教室を開設した。 ・開催地は丘の上5地区（「橋北」「橋南」「東野」「羽場」「丸山」）のうち最も外国人集住率、立地条件（駐車場の有無など）、地区の理解度などを考慮して1地区を選定し、10月半ばから1期7回の授業を開催した。 ・対話型学習を中心とし、初級レベルを対象とした。 ・学習テーマについては、新しいメンバーも含めた日本語支援者で構成される企画会議を開き、企画・検討し、必要があれば教材等も作成した。 ・学習テーマの内容は、取組1と同様生活に密着した実践的な日本語とした。加えて、地元の要望や悩みなどの声をひらいて学習テーマに反映することができた。						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		これまで公民館の教室は平日昼間のものがひとつだけあった地域での教室開催となった。特に該当地域の自治会等の地域組織と連携して運営していけるような体制整備が必要になってきた。地区公民館などとも関係を密にして、協力していく体制をつくった。試験的な取り組みではあるが、今後も継続して教室を開催していけるような体制づくりを整備できた。						
	取組による日本語能力の向上		・日常生活に必要な場面での実践的な日本語会話を習得できた。 ・地域社会で知っておかなければならない生活情報や日本文化に関する知識の獲得できた。						
	参加対象者		日本語を学びたい成人				参加者数 (内 外国人数)		45人 (23人)
	広報及び募集方法		・チラシ配布(外国人集住地区・市内地区公民館・日本語教室・当該地区小中学校 等) ・市広報・新聞・地方情報誌への掲載 ・インターネット(市役所HP、Facebook) ・学習者による口コミ						
	開催時間数		総時間 19 時間						
	主な連携・協働先		市内地区公民館、飯田市役所男女共同参画課、各地区自治会、丘の上地区飲食店・雑貨店等、バイリンガル日本語指導者						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		10	0	0	0	3	0	2	8
		日本(22人)							

実施内容

ボランティア研修会 7月（全2回）

※・の方は謝金なし

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年7月1日 (土) 10:00-12:00	2	飯田市公民館	19	ボランティア研修会 ①	ワークショップ形式で自己紹介、地域の多文化共生に関わる情報、日本語ボランティアについて考え、参加者で共有した。	大澤志那子	
2	平成29年7月15日 (土) 10:00-12:00	2	飯田市公民館	17	ボランティア研修会 ②	日本語補助者として活躍する方々にも参加していただき、支援の仕方や教室の日程等について話した。	大澤志那子	①下岡恭子 ②山崎ルミ ③木下弘子 ④脇田ルリコ

日本語教室「わいわいサロンⅡ」丘の上教室 10月～12月（全7回）

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年10月15日 （日） 14:00～16:00	2	橋北公民館	9	オリエンテーション・自分の名前	初回オリエンテーションのあと、ペアを交替しながら自己紹介。グループに分かれ、名前について話した。	大澤志那子	①下岡恭子 ②山崎ルミ ・土屋未来 ・善本勝 ・松下正子 ・木内かず子 ・小山てる子
2	平成29年10月22日 （日） 14:00～16:00	2	橋北公民館	4	近所のこと	丘の上の地図を見ながらグループワーク。行ったことがある場所や施設、行きたいところなど街について情報交換した。	大澤志那子	①木下弘子 ②下岡恭子 ③山崎ルミ ・善本勝 ・杓子育美 ・大塚寛子
3	平成29年11月12日 （日） 14:00～17:00	3	橋北公民館 丘の上	17	丘の上探検に行こう	公開講座。日本人と外国人が入った小グループ（計6グループ）で、丘の上を歩き、指定されたポイントを巡った。日本語で店の人と話したり、買い物やクイズなどのタスクをこなした。終了後橋北公民館でお茶タイムとふりかえりを行なった。	大澤志那子	①木下弘子 ②下岡恭子 ③山崎ルミ ・土屋未来 ・善本勝 ・近藤正義 ・大塚寛子 ・金田弘子 ・木内かず子 ・大倉健司 ・上沼美穂 ・小山てる子 ・斎藤圭子 ・岡田倫英 ・澤柳雅康
4	平成29年11月19日 （日） 14:00～16:00	2	橋北公民館	1	りんごのこと	いろいろな行事などが重なったためか、学習者は1人。地元の特産であるりんごをテーマに話した。	大澤志那子	・松下正子 ・杓子育美 ・近藤正義 ・原静子 ・澤柳雅康
5	平成29年11月26日 （日） 14:00～16:00	2	橋北公民館	4	買い物のこと	買い物でもらうレシートの実物を使い、ワークシート記入後にそれを見ながら、どんな買い物をしたかなど話した。	大澤志那子	・大塚寛子 ・木内かず子 ・大倉健司 ・四宮沙代香 ・原静子 ・岡田倫英
6	平成29年12月9日 （土） 14:00～16:00	2	橋北公民館	3	日本語でメール	スマホでの日本語入力を確認し、簡単な日本語のメッセージを練習して、LINEなどで送った。日本語入力ができる喜びが学習者が印象的だった。	大澤志那子	・善本勝 ・四宮沙代香 ・上沼美穂
7	平成29年12月17日 （日） 14:00～16:00	2	橋北公民館	5	年賀状を作ろう	実際に投函できるような年賀状を参加者全員作成。お互いの住所をきいて出し合うようにした。宛名書き、新年のあいさつの書き方などに注意し、オリジナルの作品ができた。	大澤志那子	・松下正子 ・大塚寛子 ・上沼美穂 ・小山てる子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 29年7月1日】ボランティア研修会①

ワークショップ形式での研修会。アイスブレイクとしてカードを使った「はじめましてゲーム」。ペアを替えながら、質問し合う活動。日本語ボランティアを希望している参加者同士、最初から打ち解けた雰囲気となった。その後、4～5人の小グループに分かれ、そこからはグループワークで進行。在住外国人の滞在理由、日本語学習における四技能、外国人と対話する際の留意事項などについて、各グループで話し合い、全体で共有した。日本語学習の必要性や対話型教室の意味などの講義を少しずつ入れ込んだが、グループワークの中で既にどのグループも核心に近いものを得ており、講義だけの研修よりは学びが得られた。各グループほとんど知らない人同士の集まりとなったが、どのグループも活発に笑顔でのトークが繰り広げられていたことは印象的だった。グループワークの前後で、「今の気持ち」を付箋に書く活動をしたところ、日本語ボランティアの活動について、「不安」が「楽しみ」に変わったというメモが多く見られた。ワークショップ最後に、今後日本語ボランティアとして活動したいかどうかのアンケートを個々に文書で記してもらおうと、参加者全員が「活動したい」との答えだった。



○取組事例②

【第3回 29年11月12日】丘の上探検に行こう！

丘の上日本語教室の第3回。公開講座としてこの回限りの参加者も受け付けたところ、外国人日本人合わせて34人の参加があった。教室の会場である橋北公民館に集まった参加者が、日本人、外国人が混在する6つのグループに分かれ着席。出発前のオリエンテーションで、自己紹介、地図とコースの確認、訪問箇所の選定などを行った。そして準備ができたグループから次々に街歩きへ出発していった。

グループはまとまって歩き、決められたエリア内の6箇所以上をまわって、クイズに答えたり店舗の方と交流したり、お土産(お茶菓子)を買ったりして、90分以内に出発地へ帰ることがタスクとして与えられた。訪問先(チェックポイント)に着いたら、各自の地図にあるクイズの答えを書き込んだり、店の人に質問できたら地図の用紙にシールを貼ったりして、チェックポイントをクリアしていった。ほぼ全てのグループが、時間内に橋北公民館へ帰着した。グループごと購入したお菓子などを食べてティータイム。一息ついたところで、全体で振り返りの会。クイズの答えやお店の情報などを共有し、数人からの感想も共有した。「いつも通っているのに入ったことのない店が多く、新しい発見の連続で新鮮だった。」(日本人)「祭り用品の店、日本の紙の店など、とてもきれいでおもしろかった。」(外国人)などの感想が多く寄せられた。丘の上に住んでいる人も離れたところに住んでいる人も、滞日年数が長い人も短い人も、子どもも大人も、それぞれがそれぞれの発見や楽しみを見つけられた探検となった。



(2) 目標の達成状況・成果

・新しい日本語支援者の発掘ができたことは大きな成果であった。25人もの応募があり、その中には市議や副区長等の役職の方もおり、研修後もやめていく人はごく少数に留まった。都合が合わずに教室参加に至らなかった方もいたが、全体的に意識の高い方々に集まっていただけ、今後活躍の場を確保していくことが課題となる。特に丸山地区在住の5人の日本語支援者が、今後は丸山地区での活動に意欲的に参加いただけるようで、期待が持てる。振り返りの会では、「自分も一緒に色々なことを学んでいる感じで、自分自身も学習者のようだった」「テーマから色々なことに話が広がってたくさん日本語で話ができた。そういう時は学習者も楽しそうだった」「職場にも外国出身者がいるので、日本語で彼らとの話し方も考えてみたい」といった声が聞かれ、初めての日本語教室活動を通して、支援者はそれぞれに様々なことを感じられたようだ。

・丘の上探検等を通して、丘の上地区を知っていただき関心をもってもらえる機会となった。また丘の上でお仕事をしている商店などの方々にとっても、日本語教室の存在を知り、地域に暮らす外国人理解にもつながる機会となった。

(3) 今後の改善点について

・新しい場所での教室開設ということで、丘の上に生活する新しい学習者層の参加を期待したが、期待したほどの参加は見られなかった。広報の仕方を見直す必要があるだろう。また、1回だけで参加をやめてしまった人たちもいて、学習内容についても、また参加したくなるような工夫をしなければならないだろう。

・新しい支援者が想定より多く集まってくれたことで、教室の回数や学習者の人数とのアンバランスが生じてしまった。日本語ボランティアとしての経験は数回ずつとなってしまう残念であったが、せっかく手を挙げてくださった貴重な人材を今後生かしていける企画が必要となる。

＜取組3＞									
取組3	取組の名称		学習成果発表会						
	取組の目標		日本語教室の学習成果について発信し、一般市民へ広く周知する。新たな学習者や日本語支援者の獲得をする。学習者の学習意欲を高める。今後の地域の日本語教育活動を充実させる。						
	取組の内容		・日本語教室での学習成果を発表できる場をつくる。成果物の展示や松尾教室で作成した映像作品の上映、参加者を交えた意見交換等を行った。 ・文化庁委託事業の日本語教室だけでなく、地域にある既存の教室や国際交流推進協会などとも協力して実行委員会を組織し、準備委員会を数回実施して、発表内容も含め準備をした。 ・次年度も継続して開催できるよう、組織づくりを進めた。						
		空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		日本語教室の存在や重要性を地域に発信する機会となった。また新しい支援者や学習者の確保にもつながり、日本語教育活性化の体制整備となった。						
	取組による日本語能力の向上		自己表現のための日本語力の習得						
	参加対象者		・日本語教室参加者とその友人・家族・勤務先の方、一般市民 等				参加者数 (内 外国人数)	44人 (16人)	
	広報及び募集方法		・チラシ配布(外国人集住地区・市内地区公民館・日本語教室・市内小中学校 等) ・市広報・新聞・地方情報誌への掲載 ・インターネット(市役所HP、Facebook) ・学習者による口コミ						
	開催時間数		総時間 2時間30分						
	主な連携・協働先		飯田市役所男女共同参画課、飯田国際交流推進協会、市内日本語教室、外国人住民自助グループ 等						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		7	3	0	0	0	0	0	6
		日本(28人)							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
10	平成29年2月4日 (日) 13:00～15:30	2.5	飯田市役所	44	学習成果発表会 ～にほんごたのしいに～	松尾教室フォトムービー作品の上映、鼎教室(後期)歌の発表、日本語でグルーptークをした。市内日本語教室等の展示、交流会も行った。		大澤志那子	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【30年2月4日】学習成果発表会～にほんごたのしいに～

①会場準備

11時ころから日本語支援者や事務局スタッフが集まり、展示物や横断幕を飾ったり、機材やテーブルの設営を行った。

②開場し・受付開始

12時半頃から徐々に参加者が集まり始めた。

③開会

13時、飯田市公民館副館長の挨拶のあと、鼎教室の参加者による歌の発表を行った。曲目は「きらきら星」で、英語、中国語、ポルトガル語、日本語で披露した。

④松尾教室で作成したフォトムービー(6人分)の上映

作品のテーマは「わたしの今」。作品上映のあと、本人に登壇していただき、作品製作でのエピソードなどインタビューを行った。統一したテーマではあったが、仕事の事や趣味、気になっている事など、作品で取り上げた内容は様々だった。全員の作品上映終了後、フロアからも質問や感想を受け付けた。

⑤グループトーク

参加者全体を5、6人ずつにグループ分けし、グループごとに着席、お茶を飲みながら自己紹介、フォトムービーの感想、それぞれの「わたしのいま」についてなどをテーマに話した。各グループの進行は日本語支援者が担当し、トークで出たキーワード等は付箋に書き出すようにした。持ち寄りのケーキや外国のお菓子などを食べながら、話が弾んでいた。

⑥各グループからの発表

話した内容や感想について、各グループ一人から発表していただいた。飯田で生活している外国人の現状や悩み、今後やってみたいこと、料理のレシピの話など、多岐に渡ったテーマでそれぞれ楽しいトークが展開されたことが伺われた。

⑦節分について

前日が節分だったことから、節分について全体進行から説明し、豆まきの掛け声の練習をしたところで、スタッフによる鬼2匹が乱入。参加者は驚きつつも、手元にあった豆で鬼を撃退していた。

⑧○×クイズ大会

鬼の出現でざわついた会場の空気が静まらないうちに、全員参加で10問ほどの飯田のことなどに関するクイズに挑戦した。

⑨閉会

終わりのあいさつをして終了。一般参加の方々も時間がある人は残って、後片付けをした。



(2) 目標の達成状況・成果

- ・関係者(発表者やその家族、運営スタッフなど)以外の参加者も多く、また、飯田ケーブルテレビの取材も入り、日本語教室の様子や今年度の学習成果を市民に発信することができた。
- ・わいわいサロンだけでなく、他の日本語教室、国際交流関係団体などからも、活動紹介の展示物を掲示していただけた。
- ・実行委員会体制まではいかなかったが、学習者や支援者を交えた企画委員会を開催し、様々の意見を反映させた内容を盛り込むことができた。
- ・フォトムービーの上映のあと、参加者同士のグループトークの時間を充分とることで、ただ聞いただけ見るだけでなく、飯田の日本語教育についてそれぞれが自分の問題に引き寄せてより深く考えられる機会となったのではないかと。
- ・参加者アンケートによると、「映像作品から作者の心が伝わり感動した」「ベトナムの方が参加しているのに驚いた。職場にもベトナムの研修生がいるので交流できたらいい」など様々な意見が寄せられた。

(3) 今後の改善点について

- ・企画委員会でおおよその方向性を決定し、その後は事務局が中心となって準備をする体制は、情報も集約されて動きやすいことはあるが、事務局の負担が大きい。学習者や支援者がもう少し主体的に関われるような実施体制作りを目指す必要があるだろう。
- ・今回わいわいサロン以外の日本語教室などは展示のみの参加であった。展示でも活動紹介は充分できるが、できれば何らかのパフォーマンスがあると、飯田地域全体の日本語教育の活性化にもつながっていくのではないかと。今後はそのような仕掛けもしていけるといい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

これまでの日本語教室の活動から見てきた地域の実情や課題、ニーズなどに寄り添った日本語教室を開催し、外国人の自律促進と地域課題解消への一助とする。これまで築いてきた関係機関等との連携を継続、更に強化するとともに、新たな連携先の発掘にも力を入れる。教室に参加する学習者が、実践的な日本語を身につけることはもちろん、地域住民と共に日本文化や地域について学ぶことを通して、住民のひとりとしての自覚を持ち、社会へ踏み出していく足がかりとする。地域住民主体の“学習と交流の場”としての公民館を拠点にした教室活動を展開することによって、地域住民と外国人が共に主体となる地域日本語教育推進のための体制整備を図る。今年度は新しく教室を開設する地区もあり、飯田市における日本語教育の裾野が広がるような活動を目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成

・鼎教室前後期17回、松尾教室10回、丘の上教室7回と、年間を通してどこかでは教室が開催されている状況をつくることができ、わいわいサロンの存在の周知はできつつあると思われる。
・各教室でそれぞれテーマを設定し特色ある活動をすることで、学習者が複数の教室にダブって参加しても、それぞれで満足してもらえ内容となっていた。学習者アンケートでは「教室に参加する前後では、参加後日本語が上達した」と感じる答えが多く寄せられたことから、学習内容に対する満足度は高かったのだろう。
・教室にお迎えした講師陣との連携、学習成果発表会での他教室との連携、コーラスグループ発表会へ参加を通して公民館や他のコーラスグループとの繋がりができるなど、地域の様々な機関や個人との連携を構築することができた。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・教室に専門分野の方を招いてお話を伺ったり、実演を見たり、体験をすることで、学習者が言葉だけでなく体感を通して日本文化や飯田の産業に触れることができた。「今度はあのお店にいきましょう。」とか、「わからなかったら聞けば教えてくれるんだ。」とわかることで、学習者が地域で自律した生活を送っていけることにつながる効果があるだろう。
・協力してくださった日本人側からも、「飯田にも大勢の外国人が住んでいることがわかった。」「日本語を勉強することは大変だろう。」などの声を聞くことができ、これまで地域に住む外国人住民をあまり意識することがなかった方々に彼らの存在を身近に感じていただき、理解しようとする姿勢が感じられた。そういった日本人側にも多文化共生社会の醸成を担う一面がみられたことは、成果と言える。

(4) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・丘の上教室の新しい支援者募集には、飯田市の広報へ掲載したことと、シニア大学での情報提供はよかった。広報ではより広い範囲の市民へ伝わった。シニア大学では、「ボランティアをしたい」人々へのピンポイント的広報ではあったが、そこから多数応募いただき、大きな効果があった。
・公民館コーラスグループ発表会への出場や市民大学講座で学習者が日頃の学習成果や飯田での生活について発表する機会を得たことで、これまで地域で外国人を意識することがなかった一般市民へ彼らの実情や思いを発信することができた。
・事業成果の地域への発信は、都度のSNSへの情報UPをこまめに行い、広く一般に向けて発信した。
・学習成果発表会では、市内日本語教室だけでなく、主に日本人が学ぶ外国語教室や国際交流推進協会等の団体にも展示にご協力いただいたことで、何かしら外国に興味があっても日本語教室には目が向かなかった方に知っていただく機会となった。

(5) 改善点、今後の課題について

・新たな支援者を発掘し確保することができた。この人々の活躍の場をつくることと、日本語ボランティアとして活動できるよう育成していく必要がある。
・新しい学習者層に働きかけることが必要である。もっと在住外国人の協力をあおぐなど、広報に工夫していくことも大切だろう。
・日本語支援者がより主体的に関われるような仕組みをつくることも課題となる。現在はファシリテーターができる支援者が数人しかいないため、負担が大きくなっている。少しずつでも体験等をしていく中で、その力をつけていってほしい。

日本語教室わいわいサロンⅡ 県教室
疲れにさよなら！日本語教室でリフレッシュ！？
2017年6月12日～7月24日 月曜日 全7回

仕事や家事に疲れたとき
 みなさんはどんな風にリフレッシュしていますか？
 今回の教室では、
 身体と心にとよつといいことを学びながら、
 日本語を勉強します。

○時間 夜7時～9時
 ○場所 県公民館
 飯田市南中平1339-5 TEL22-1284
 ○内容 日本語初級会話
 日本語でたくさん話します。
 ○託児 事前に申し込んでください。
 ○受講料 無料 ※一部材料費など必要

①6月12日(月)19時～21時 梅でリフレッシュ 講師：西室洋子さん 下伊那の梅のお話しを 聞いたあと梅酒作りを 体験します。材料費600円	②6月19日(月)19時～21時 歌でリフレッシュ 日本の歌を歌ってみましょう。 歌詞の意味も勉強します。	③6月26日(月)19時～21時 研修旅行の計画 みんなで行ってみたい場所。 やってみたいことを出し合って。 7月17日の研修旅行について 計画しましょう。
④7月3日(月)19時～21時 ストレッチでリフレッシュ 講師：富澤真子さん(くま熊会館) 身体をほぐしながら、身体や健康 に関する日本語を学びましょう。	⑤7月10日(月)19時～21時 おしゃべりでリフレッシュ 自分のリフレッシュ方法について みんなで話したり、 体験したりしましょう。	⑥7月17日(月祝)10時～14時 研修旅行 教室を飛び出して、 地域のことを学びに行きましょう。 参加費：お昼代など若干
⑦7月24日(月)19時～21時 お家でリフレッシュ 講師：佐藤清恵さん(回信茶屋) あなたは家で緑茶を飲みま すか？日本のお茶について お話しを聞いたあと、おい しいお茶の淹れ方を学びましょう。	※都合により内容が変わる場合があります。	

日本語教室は、ただ日本語を学ぶ場所ではありません！
 地域のひとと触れ合いながら、飯田の暮らしを学んでいます。
 間違えても大丈夫。
 日本人やほかの外国人と日本語でたくさん話しましょう。

問い合わせ・申し込み 飯田市民館 飯田市吾妻町139 担当：湯澤
 電話 22-1132 FAX 22-1022 Eメール iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp
 Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese class Watwaisalon

日本語教室わいわいサロンⅡ 県教室
うたとにほんご！
2017年12月4日～2018年1月29日(月曜日) 全7回

みなさんは好きな歌はありますか？
 今回の教室では、歌をテーマに日本語を学びます！
 毎回すてきな歌の練習もして、
 来年2月25日(日)に飯田市民館で開催される
 「コーラスグループ発表会」に出てみませんか！

○時間 夜7時～9時
 ○場所 県公民館 (飯田市南中平1339-5 TEL22-1284)
 ○内容 日本語初級会話・歌の練習
 ○託児 事前に申し込んでください。
 ○受講料 無料 ※一部材料費など必要

出演しよう！♥コーラスグループ発表会 2018年2月25日(日) 会場：飯田市民館

日時	内容
①12月4日(月)19時～21時	【好きな歌について話そう】 みんなで歌う歌を決めよう。
②12月11日(月)19時～21時	【カラオケのこと・歌の練習】 カラオケについて話しましょう。
③12月18日(月)19時～21時	【和楽器体験・歌の練習】 琴、笛など日本の楽器に触れてみましょう。
④1月14日(日)10時～13時	【新年会】 日本のお正月遊びや料理を体験しましょう。※料理代すし必要です。
⑤1月15日(月)19時～21時	【和太鼓にチャレンジ！・歌の練習】 和太鼓をたいてみよう！
⑥1月22日(月)19時～21時	【日本語の「オノマトペ」・歌の練習】 日本語の会話で使う「オノマトペ」ってどういうこと？「オノマトペ」がわかると、日本語がもっと楽しくなりますよ◎
⑦1月29日(月)19時～21時	【歌の練習】 コーラスグループ発表会について
♥2月25日(日)	コーラスグループ発表会 本番！！

問い合わせ・申し込み 飯田市民館 飯田市吾妻町139 担当：湯澤 電話 22-1132 FAX 22-1022 Eメール iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp
 Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese class Watwaisalon

【取組1】松尾教室

平成 29 年度文化庁「生活者としての外国人」地域日本語教育実践プログラム (B)

飯田に暮らして、どんなことを感じていますか。日本語で自分物語を作りましょう。



2017 年 9 月 6 日～2017 年 11 月 29 日 (水曜日) 全 10 回

学習成果発表会 2 月 4 日 (日曜日)

【場 所】松尾公民館 (飯田市松尾城4012-1 TEL: 0265-22-0091)

【対 象】日本語を話したり読んだりしたいひと

【内 容】DST の手法を取り入れたフォトムービー作品作り

【参加費】無料

【申込み先】飯田市民会館



DST (DIGITAL STORY TELLING)

アメリカで生まれ、習得に当たっている話者参加型です。
参加者が体験を語り、自分自身のビデオを作ります。



スケジュール 全て水曜日 19:00-21:00 全部参加できなくても大丈夫①

①9月6日	飯田のこと、紹介してみよう①	⑥10月25日	原稿作成
②9月20日	飯田のこと、紹介してみよう②	⑦11月8日	原稿作成・録音練習
③9月27日	作品のテーマ決め	⑧11月15日	原稿作成・録音練習
④10月4日	写真選び・原稿の書き方	⑨11月22日	録音
⑤10月11日	原稿作成	⑩11月29日	録音



★学習成果発表会★
2月4日(日)

2017 年にわいわいサロンで勉強したことを発表
します。交流会もしますので、家族や友達と一緒に
どうぞ！お菓子など、持ち寄ります♪

【申込み・問い合わせ】飯田市民会館 湯澤

TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp

Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese Class 'Waiwai Salon'

【取組2】丘の上教室

平成 29 年度文化庁「生活者としての外国人」
地域日本語教育実践プログラム (B)

日本語教室わいわいサロンII 丘の上教室

日本語ボランティア募集

特別な知識、
語学力は不要です

丘の上地区で日本語教室を開講するにあたり
新しく日本語ボランティアを募集します。

わたしたちの日常の経験を伝えることが
外国人住民の方にとっては生活していく力になります。

日本語はもちろんですが
地域のことやお互いの国のことを一緒に学びましょう。

「興味はあるけど、一歩が踏み出せない」という方も
お気軽にお問い合わせください。



【内 容】

対話型日本語教室で受講者の会話パートナーとなったり、理
解を促すサポートしたりしていただきます。
相手に寄り添い、一緒に学び合うことが出来る方、歓迎です。
教室は、8～12 月頃(全 7 回)開催する予定。
経験不問ですが、7 月に予定している事前研修会への参加を
お願いいたします。

【場 所】

横北公民館 他

【募集対象】

日本語教室に興味があり、主に土日に活動できる方。

【募集人数】

10 人程度

【応募方法】

裏面の応募シートに、住所、氏名、年齢、電話番号、職業、
応募理由(100 字以上)を記載し郵送・FAX・メールのいず
れかでお送りいただくか、ご持参ください。

※応募用紙以外の様式をお使いいただいても構いません。

※募集締めの切り 6 月 19 日 (月) (必着)

日本語教室のこと...

飯田市には約 103,494 人に對し、2,058 人(比率 1.99%)の外国人住民が暮らしています。(平成 28 年 12 月末)その 9 割は中国、
フィリピン、ブラジル出身者で、かつて海軍駐留兵として多くの人を送り出した歴史的背景から、帰国者に関する中国出身者が特に
多くなっています。日本語教室は、わいわいサロンを含めて、市内に 4 か所あり、20 年ほど活動しています。
教室では、交流しながら生活に必要な日本語や生活情報等を学んでおり、各国料理を作ったり、研修旅行へ行くこともあります。
それぞれが自分のルーツに関係なく、参加者全員で楽しい活動を行っています。



【申込み・問い合わせ】

飯田市民会館 担当：湯澤

〒395-0085 長野県飯田市吾妻町 139 TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022

E-mail iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp

Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese Class 'Waiwai Salon' で検索してください

日本語教室わいわいサロンⅡ 丘の上教室



2017年10月15日 - 2017年12月17日 (日曜日)

14:00-16:00

飯田での暮らし、楽しんでますか？
この町のこと、人々のこと。
もっともっと知ってみませんか。
間違っても大丈夫。
日本人や他の外国人と
日本語でたくさん話しましょう。

○場所 南北公民館
(飯田市江戸町2丁目292-8 TEL.0265-24-0310)
○対象 日本語を勉強したい人
○内容 初級日本語会話、飯田の暮らしについて
○託児 事前に申込みをお願いします。
○参加費 無料
○申込み先 飯田市公民館

テーマ：まちを知る・人を知る

10月15日(日)14時-16時 自己紹介・私の名前 どんなひとが日本語教室に来てい るのかな?日本語で自己紹介をし てみましょう。	10月22日(日)14時-16時 近所のこと 自分の家のまわりにどんなものが あるか知っていますか? 地図を見ながら話しましょう。	11月12日(日)14時-17時 丘の上探検に行こう! ★公開講座★ 「丘の上」ってどんなところ? 教室を飛び出して、丘の上にあるお店 や名所に行ってみましょう!
11月19日(日)14時-16時 りんごのこと りんごは好きですか? 飯田はりんごが有名な町。飯田の りんごについて話しましょう。	11月26日(日)14時-16時 買い物のこと いつもどこに買い物に行きますか? お得な情報も交換しましょう。	12月8日(土)14時-16時 日本語でメール あいさつや仕事の連絡、SNS など を日本語で入力してみましょう。
	12月17日(日)14時-16時 年賀状をつくろう 日本では、新年に年賀状を送りま す。オリジナル年賀状を書いてみま しょう。	家族や友達と一緒に 参加してくださいね!

【申込み・問い合わせ】 飯田市公民館 講座
TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail joso@city.ito.jp
Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese Class "Waiwai"

主催 飯田市

日本語教室「わいわいサロンⅡ」丘の上教室

\\ 丘の上探検に行こう / /

2017年11月12日 日曜日

スタート・ゴール：南北公民館

■出発時間：14時45分 ■戻ってくる時間：16時15分

平成 29 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
日本語教室わいわいサロンⅡ 丘の上教室「まちを知る・ひとを知る」



「丘の上」ってどんなところ?

丘の上にあるお店や名所に行ってみましょう!

2017年11月12日 (日曜日) 14時-17時 (予定)

【申込場所】南北公民館 Kyohoku Kominkan (飯田市江戸町2丁目292-8)

【参加費】¥300- (おやつ代等) 【Eメール】事前に申し込んでください。

【注】歩きやすい服装・靴でください。遅れずに集合してください。

Let's Explore The Hilltop (okanoue) ! 11/12 (Sun) 2:00-5:00p.m.

Participate with your families and friends! What kind of place is the "Hilltop"?

【Child care (baby sitting)】 Inform in advance 【Participation Fee】 ¥300-

去丘上探検! 11月12日(日) 14点-17点

皆さんの家族や友達と一緒に参加して「丘の上」ってどんなところ?

皆さん、丘の上の商店や名所を見てください! 【Eメール】 事前に申し込み。【参加費】 ¥300-

Vamos explorar a colina "oka no ue"! Dia 12/11 (dom.) 14-17h

Participem as famílias e amigos! (Oka no ue) Como deste lugar?

Vamos deixar a sala de aula para ir conhecer as lojas e lugares famosos que tem na colina Oka no ue!

【Bercário】 Favor fazer a reserva antecipada 【p/participar】 ¥300-

申込み/問い合わせ 飯田市公民館 TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail joso@city.ito.jp 当日の連絡先080-6938-4787(携帯)

Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese Class "Waiwai Salon"



主催 飯田市公民館

B 山とてんからのお楽しみ会				
No.	名称	写真	詳細	替えカシール
101				



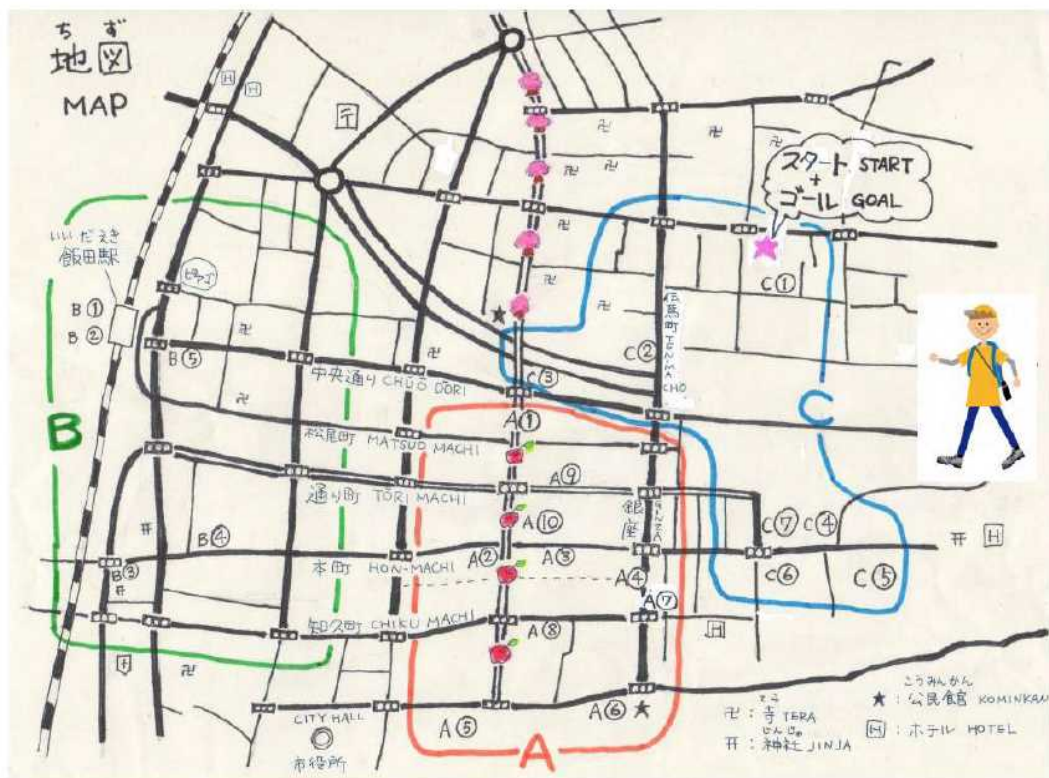
A ※ここから4力圏以上行く。

No.	名称	写真	質問	答え・ポイント
A①	りんご園 りんご堂本		【Q】 りんごの なまはち なんですか？ いくつ聞いてもいいですよ。	答え
A②	エコハウス		【T】 (お茶、お水、お風呂、トイレ、洗濯機) 近頃を入って右側の作業に上がり。 案内のひとに聞きます。 「ここに おまっせも いいですか？」	シール
A③	トップビルズ本町 りんご庁舎		【Q】 (りんご) うかいの 市民サロンに、売いつくえは いふやー ありますか？	答え
A④	義母様		【Q】 はい。あ。です。 ほほほ なんメートホですか？	答え
A⑤	新田市立動物園		【Q】 し、はいとさ いくらですか？ ず、すんばろ いつかですか？	答え
A⑥	機関車		【Q】 きかんしゃの とりにて、たてものが ありま す。なまはち なんですか？	答え
A⑦	キンク堂 (文芸部)		【T】 (お茶) お店の方へ聞きます。 「どうして、キンク堂 ですか？」	シール
A⑧	恵川紙店 (紙、印刷物、絵画、装飾品)		【T】 (お茶) お店の方へ聞きます。 「この おみせは なんさい ですか？」	シール
A⑨	片桐屋 (お菓子、お米、お肉、お魚、お酒、お漬物)		【T】 (お茶) お店の方へ聞きます。 「にほんで なんですか？」	シール

B1	福田 駅 （JR山手線） （有楽町線）		福田 から 西 へは いそがいです。 いくらでもです。	
B2	〒107-8501 東京都港区 新大塚ビル内 （有楽町線） （丸の内線）		どこへ いきたいですか？ パンフレットを ひくと、いって。 ください。	
B3	〒107-8501 東京都港区 新大塚ビル内 （有楽町線） （丸の内線）		【1】お酒のひとに聞きます。 「ここは なんの おみやげですか？」	シーホ
B4	〒107-8501 東京都港区 新大塚ビル内 （有楽町線） （丸の内線）		おみやげを かきましょう。	
B5	〒107-8501 東京都港区 新大塚ビル内 （有楽町線） （丸の内線）		おみやげを かきましょう。	

C 2014年12月1日

No.	名所	写真	説明	答え
C1	下伊勢教育会館		T01 このおでまの出は 金にそ で歩いて います。	答え
C2	田井 （おでまの 田井子、おでま子）		T01 おめやけお かいましよう。	
C3	二上歴史館 （二上館） （おでま、おでま子） （おでまの 二上子、おでま子）		T01 おめやけお かいましよう。	
C4	飯田市立図書館		T01 おめやけお かいましよう。 （おでまの 飯田子、おでま子） （おでまの 飯田子、おでま子）	シーエ
C5	飯田美術館		T01 おめやけお かいましよう。 （おでまの 飯田子、おでま子） （おでまの 飯田子、おでま子）	シーエ
C6	小学校		T01 これは 飯田です。おめやけお かいましよう。	答え
C7	寺門		T01 これは 飯田です。	答え



日本語を勉強している人たちが、どんな思いで暮らしているかを知り、飯田の多様性について一緒に考えてみませんか。
どなたでも気軽に参加してください。

日本語教室わいわいサロンⅡ

学習成果発表会

日本へきて、飯田に暮らして、色々なことがありました。
そしてこれからも、ここで生活していきます。
日本語教室は、日本語だけでなく、
地域の方と交流しながら、地域の暮らしや文化を学ぶ場所。
外国にルーツを持つ日本語学習者が、
一年間教室で学んだ成果を、是非見に来てください。

2018年2月4日(日曜日)13:00-15:30

会場 飯田市役所 C 棟 3 階 飯田市大久保町 2534 0265-22-4511

内容

13:00-14:45 学習成果発表会

○歌の発表(鼎教室)

多言語キラキラ星、海の声

○フォトムービー作品の上映(松尾教室)

中国、ブラジル、日本出身者が「わたしの今」をテーマに作った映像作品を上映します。

○グループでお話しましょう

14:45-15:30 交流会

おかしな持ち寄りを持って、交流しましょう！
節分の豆まきもあります。
参加費：交流会参加者はひとり 100 円(飲み物代)
※おかしなどはみんなで持ち寄ります☆(ある人だけで大丈夫です！)



展示コーナー

市内で活動している日本語教室、国際交流関係団体等が活動の様子を展示してくれます。

○ACENB

- ・子供のためのポルトガル語教室
- Hand in Hand 和楽
- 飯田国際交流推進協会
- 竜丘公民館日本語教室 好友会
- 羽場公民館日本語教室
- 常盤台日本語教室
- 日本語教室わいわいサロン 鼎・松尾・丘の上
- りんご教室(バイリンガル指導者による日本語教室)
- えんぴつクラブ
- ポルトガル語教室
- 中国語教室

【問い合わせ】飯田市公民館 湯澤

TEL 0265-22-1132 FAX 0265-22-1022 E-mail iccc01gkr1@city.iida.nagano.jp

Facebook 日本語教室わいわいサロン Japanese Class 'Waiwai Salon'



号 日本語教室「わいわいサロンⅡ」第1前期 学習者アンケート

(1) どうして日本語教室にきましたか。2つまで、○を付けてください。

- | | | | |
|------------------|---|------------|---|
| ①日本人や他の外国人に会えるから | 2 | ③友達に誘われたから | 0 |
| ②日本語を勉強したいから | 4 | ④その他 | 1 |
| ③日本や新潟の文化の学べるから | 3 | | |

(2) どのテーマがよかったですか。よかったもの2つに、○を付けてください。

- | | | | |
|-----------|---|---------------|---|
| ①種でリフレッシュ | 2 | ③ストレッチでリフレッシュ | 1 |
| ②歌でリフレッシュ | 0 | ④おしゃべりでリフレッシュ | 0 |
| ③研修旅行の計画 | 0 | ⑤研修旅行 | 5 |
| | | ⑥お茶でリフレッシュ | 3 |

(3) 日本語教室で話したいテーマはありますか。

- | | | | |
|--------------|---|--------------|---|
| ①日本や新潟の文化 | 3 | ④ひらがな・漢字 | 0 |
| ②言葉勉強など日本の知識 | 1 | ⑤みんなで研修旅行へ行く | 1 |
| ③子どものこと | 1 | ⑥お互いの国のこと | 4 |
| | | ⑦その他 | 0 |

(4) 日本語教室の感想を書いてください。

- ・毎週違うテーマだったのがよかった。
- ・皆さんと日本語を一緒に勉強して楽しかった。
- ・新潟のことを詳しく知ることができました。日本人の気持ちは優しい！丁寧に教えてくれます。ありがとうございます。
- ・来年も勉強に参りたい。
- ・日本語教室で勉強してとても楽しかったです。

①日本人や他の外国人に会えるから 2

④友達に誘われたから 0

②日本語を勉強したいから 5

④その他 0

③日本や新潟の文化の学べるから 5

(2) どのテーマがよかったですか。よかったもの2つに、○を付けてください。

- | | | | |
|--------------|---|---------------------|---|
| ①好きな歌について話そう | 2 | ③太鼓にチャレンジ | 3 |
| ②カラオケのこと | 0 | ④新年会 日本のお正月遊びを体験しよう | 1 |
| ③和楽器体験 | 0 | ⑤日本語のオノマトペ | 0 |
| | | ⑥コーラスグループ発表会について | 3 |

(3) 日本語教室で話したいテーマはありますか。

- | | | | |
|--------------|---|--------------|---|
| ①日本や新潟の文化 | 3 | ④ひらがな・漢字 | 3 |
| ②年會保険など日本の制度 | 0 | ⑤みんなで研修旅行へ行く | 5 |
| ③子どものこと | 0 | ⑥お互いの国のこと | 3 |
| | | ⑦その他 | 0 |

(4) 日本語教室の感想を書いてください。

- ・新しいことを見えることが多い。
- ・みんなと話ができることがとても楽しいです。
- ・いろいろな人と会えるからです。
- ・いつもこの教室好き。いつもありがとう。
- ・とてもよかったです。
- ・毎週楽しかったです。またやりたいです。
- ・今日は楽しかったです。歌の練習はおもしろい。

平成29年度文化庁日本語教室「わいわいサロンⅡ松尾」 フォトムービー作品を作ろうーわたしの今ー 受講者の感想

名前	①フォトムービーをやった楽しかったこと	②フォトムービーで新しくわかったこと	③フォトムービーで一番楽しかったこと	④フォトムービーを見せたい人は誰ですか	⑤フォトムービーをまた作りたいか	その他
1 (中島小梅)	・仕事の内容で作れてすごく楽しかった。 ・言葉にできないけど感謝しています。 ・「利用者さんの心が伝わってきます」という言い方からなかったがそれが文にできた。 ・書くのが楽しかった。	・「～や」「～たり」という言い方、「体操」などの新しい漢字が勉強できた。	・舌の使い方。 ・文法	・旦那さん毎日こうやって勉強しているのを見せたい。 ・息子応援してほしい。	・何回も色々なテーマで作って勉強したい。	・日本のゲームや語呂合わせなど勉強できたことも楽しかった。
2 (市川マリ)	・前より日本語を聞いたり書いたりする自身が持てるようになった。	・今まで使わなかった日本語をたくさん教えてもらい、覚えることができた。	・文章を考えて書くこと。	・自分の両親	・作りたい	
3 (杉浦麻州男)	・みんなて話しながら文章を少しづつ作って後でまとめることができるようになりました。	・文章ができあがったとき。	・書いた文章を順番につなげること。	・家族と友達たくさんの方にってもらったら、わいわいサロンに興味を持つ人が増えると思う。	・作りたい	

平成29年度文化庁日本語教室「わいわいサロンⅡ」丘の上教室 日本語ボランティアの感想

名前	日本語教室へ参加した感想	今後参加してみたいか
1 正松子下	・自分のわかることを外国の人たちに伝える、また、私の知らないことを教えてもらえ、楽しく参加させていただきました。 ・もっと大勢の外国人が参加することを期待します。 ・町内など小さな社会を外国の人に知って欲しいです。	○希望する 足が悪くて歩く行事には参加できませんが、それ以外参加したいと考えています。
2 藤子	・外国人、支援者との交流ができてよかった。 ・自宅から出るきっかけを作ってくださり、ありがとうございます。	○希望する
3 沙代	・支援者の教室前の打ち合わせはもっと簡略でもいいと思いました。 ・学習者さんはとても意欲的なので、支援者は「聞かれたら答える」という姿勢でいいのかなと思いました。 ・支援者さんたちの気構えが少し固い気がする、もう少しみんなて気楽にできたらいいなと思いました。	○希望する
4 栗上穂治	堅苦しい雰囲気もなく、楽しみなでできました。参加者の笑顔が見られ、とてもいい環境だなと思いました。はじめは緊張しましたが、来てみてよかったです。	○希望する
5 てん子	あっ！という間で、ただただ楽しませてもらいました。受講者さんが、「習字もしてみたい」と言っていて、それいいのでは！と思いました。	○希望する
6 寛大子塚	色々な国の方と一緒で、各国の話も聞くこともでき、私自身も大変勉強になりました。これからも継続できるといいと思います。	○希望する
7 藤本	・楽しかった。 ・生活上の有意義な情報をもっと伝えられるといいと思った。	○希望する
8 榎小枝	振り返りの会資料を読ませていただき、全部の会に出られなくても残念に思いました。皆さん楽しく参加された様子が印象的でした。次回開催があるようでしたら1回でも参加できるようにしたいと思います。	○希望する
9 青柳栗子	教室の学習者は、意欲が高い人たちがばかりで、積極的に明るい方が多いのかなという印象でした。自分自身も自信に引っ越してきて日が浅いため、地域のことについて学ぶことが多くあり、楽しめました。学習者が少なく残念でした。もう少し幅広く日本語教室のことを宣伝しつつ、学習内容も日本料理を作ったり、日本語の歌やゲームなどのアクティビティを取り入れてもよいと思いました。	○希望する